

2015年12月3日

移住労働者と共に生きるネットワーク・九州

大村入国管理センターへの質問

1、収容施設及び被収容者の状況について

①現時点(2015年10月末)での収容定員と収容人員について、国籍別・世代別(10歳代、20歳代、30歳代、40歳代、50歳以上)の人数及び九州以外から移送されてきた被収容者の割合を教えてください。

(昨年回答)

- ・収容定員 800名(実行収容定員は男子区100名)
- ・2014年10月末現在の収容人員 20名(全員男性)
- ・九州以外からの被移送者 60%
- ・国籍別内訳 全員男性 ブラジル5名、イラン・ネパール各3名、ベトナム・中国 ナイジェリア・バングラデッシュ各2名、ガーナ1名
- ・年代別内訳 10歳代0名、20歳代8名、30歳代3名、40歳代9名、50歳代以上0名

(今年回答)

- ・収容定員 800名(実行収容定員は男子区200名)
 - ・2015年10月末現在の収容人員 44名(全員男性)
 - ・九州以外からの被移送者 86.4%
 - ・国籍別内訳 全員男性 イラン8名、フィリピン6名、ブラジル・中国各5名、ナイジェリア・ベトナム各3名、タイ・ネパール・ペルー・スリランカ各2名、エジプト・ガーナ・コロンビア・パキスタン・バングラデッシュ・モロッコ各1名
 - ・年代別内訳 10歳代0名、20歳代7名、30歳代13名、40歳代19名、50歳代以上5名
- (補足) 実効収容定員が昨年度100名に比べて200名に増加している。一方職員の定員は変わらず。

②2014年の平均収容期間と、現時点(2015年10月末)での最長期収容期間について教えてください。

(昨年回答)

- ・平均収容期間 84.7日(2013年の平均収容期間)
- ・最長期収容期間 2年6ヶ月(2014年10月末現在)

(今年回答)

- ・平均収容期間 109.6日(2014年の平均収容期間)

・最長期収容期間 2年3ヶ月(2015年10月末現在)
(補足)最長収容期間の計算は大村での収容期間だけ。この最長の収容者は、その後仮放免。

なお、大村での収容期間は7ヶ月だが、大村に移送される前に大阪入管で既に4年の収監を経ており、通算で4年7ヶ月に渡る収容者を確認している。その後帰国。

③現時点(2015年10月末)で、6ヵ月以上の長期被収容者の人数について教えてください。

(昨年回答)

・6ヶ月以上 8名

(今年回答)

・6ヶ月以上 9名

④現時点(2015年10月末)で、被収容者の中で刑務所服役後に収容されているのは何名ですか。その内、6ヶ月以上収容されているのは何人ですか。

(昨年回答)

・2014年10月末現在で11名 うち6ヶ月以上5名

(今年回答)

・2015年10月現在で17名 うち6ヶ月以上4名

⑤西日本入国管理センターは本年9月に閉鎖されましたが、2014年10月1日から閉鎖(2015年9月末)までの期間に、同センターから移送された被収容者の人数を教えてください。

(今年回答)

・2名

⑥2014年及び2015年1月～10月での期間中の事項について質問します。

ア、収容施設内で被収容者が自殺未遂(自傷行為)はありましたか。

(昨年回答)

・2013年 自殺未遂0件、自傷行為1件

・2014年1月～10月 自殺未遂0件、自傷行為2件

(今年回答)

・2014年 自殺未遂0件、自傷行為2件

・2015年1月～10月 自殺未遂0件、自傷行為0件

イ、仮放免が許可された人数は何名ですか。仮放免許可書で指定された住所地の地方別人

数も教えてください。

(昨年回答)

- ・2013年 17件
- ・2014年1月～10月 22件
- 2013年 関東地区6名、東海地区4名、九州地区6名、四国地区1名
- ・2014年1月～10月 関東地区8名、近畿地区7名、東海地区6名、中国地区1名

(今年回答)

- ・2014年 23件
- ・2015年1月～10月 23件
- 2014年 関東地区9名、東海地区6名、近畿地区7名、中国地区1名
- ・2015年1月～10月 関東地区8名、近畿地区6名、東海地区6名、九州地区2名、中国地区1名

り、国費送還者は何人いましたか。その内、本人の意思に基づかない送還者、自費で出国した人は何名ですか。

(昨年回答)

- ・国費送還者 2013年 9名
- 2014年1月～10月 9名 うち送還忌避者は2名
- ・自費送還者 2013年 45名
- 2014年1月～10月 28名

(今年回答)

- ・国費送還者 2014年 9名 うち送還忌避者は2名
- 2015年1月～10月 5名 うち送還忌避者は1名
- ・自費送還者 2014年 28名
- 2015年1月～10月 6名

エ、苦情申し立ては何件ありましたか。その内容の主なものは何ですか。

(昨年回答)

- ・2013年 0件
- ・2014年1月～10月 1件
- 自らの申し出に対する処遇警備官の対応への不満を訴えたものの、翌日あまりにも些細なことで取り下げられた。

(今年回答)

- ・2014年 1件
- ・2015年1月～10月 1件

処遇や医師の診療による不満を申し出たもの。

ハ、被収容者の中で、宗教行事を希望した人は、何名ですか。

(昨年回答)

- ・2013年 延べ146名
- ・2014年1月～10月 延べ172名（ラマダン期間中の実施を1名が希望し、給食の支給時間を変更する配慮をした。）

(今年回答)

- ・2014年 延べ206名（ラマダン実施1名）
- ・2015年1月～10月 延べ220名（ラマダン実施を3名が希望し、給食の支給時間を変更する等の配慮をした。）

カ、性的マイノリティーで特別な処遇をした人数を教えてください。もし該当者がいる場合、どのような立場の方が関わり、どのような処遇をしましたか。

(昨年の回答)

- ・2013年 1名（被収容者の羞恥心に考慮して、出所するまでの間、他の収容者と接触しない区域に収容するという処遇をした）
- ・2014年1月～10月 0名

(今年回答)

該当者なし

キ、被収容者の中に人身売買被害者と疑われた人は何名いましたか。いる場合はその人数と国籍を教えてください。

(昨年回答)

該当事例なし

(今年回答)

該当事例なし

ク、被収容者間で起こったトラブルで、警察が取り調べを行った件数は何件ありましたか。その内、逮捕された人数、起訴された人数は何名ですか。

(昨年回答)

- ・2013年 3件 うち逮捕1件 起訴0件
- ・2014年1月～10月 該当事例なし

(今年回答)

該当事例なし

2、医療スタッフ及び医療ケアについて

①2015年度の医療スタッフについてお聞きします。

昨年と比べて、医師、看護師、薬剤師その他の内訳で変化があれば教えてください。

(昨年回答)

- ・内科、消化器科の医師2名の非常勤体制となり、月、水、金の週3日の午前中、歯科医師1名（毎週金曜日午前中の週1回）、その他のスタッフに変化なし。

(今年回答)

変化なし

②被收容者の中で精神を病んだ人へのケアはどのように行っていますか。

(昨年回答)

- ・必要に応じてメンタルケアの専門家によるカウンセリングや外部の診療を受けさせることとなります。

(今年回答)

- ・必要に応じてメンタルケアの専門家によるカウンセリングや外部の精神科診療を受けさせることとなります。

③2014年及び2015年1月～10月の期間中に、メンタルケアの専門家によるカウンセリングの延べ件数を教えてください。また通訳がついたケースは何件ですか。

(昨年回答)

- ・2013年 延べ104件
- ・2014年1月～10月 延べ91件
- ・当該期間中の通訳の事例なし(カウンセラーは英語を解することもあり、今までに通訳の要請はなかった。)

(今年回答)

- ・2014年 延べ104件
- ・2015年1月～10月 延べ81件
- ・カウンセラーは英語を解することもあり、2014年及び2015年1月～5月までは通訳つけた事例なし。2015年6月以降9件。

(補足) 2015年6月以降9件は、英語以外の言語（主にペルシャ語？）

④2014年及び2015年1月～10月の期間中に、外部の医療機関での受診・検査は何件ありましたか。診療科毎に教えてください。

(昨年回答)

- ・2013年 99件 外部で受診。(受診の希望の有無の統計は取っていない)
(眼科2件、内科7件、循環器科22件、耳鼻咽喉科15件、皮膚科、外科各1件、救急外来20件、歯科・口腔外科14件、形成外科9件、整形外科8件)
- ・2014年1月～10月 66件
(救急外来21件、循環器科・耳鼻咽喉科各2件、形成外科2件、内科8件、整形外科8件、歯科4件、眼科4件、皮膚科9件・精神科6件)

(今年回答)

- ・2014年 72件 外部で受診。(受診の希望の有無の統計は取っていない)
(総合内科1件、歯科2件、整形)98件、内科12件、耳鼻9科2件、泌尿器科4件、皮膚科9件、救急外来22件、眼科6件、精神科7件、放射線科1件、形成外科2件)
- ・2015年1月～10月 40件
(内科1件、外科4件、耳鼻)科各5件、整形外科15件、泌尿器科2件、皮膚科2件、救急外来12件、精神科1件)

⑤2014年及び2015年1月～10月の期間中に、施設内の医師の診察で、被収容者に通訳が
ついたのは何件ですか。

(昨年回答)

- ・2013年 2件
- ・2014年1月～10月 1件

(今年回答)

- ・2014年 1件
 - ・2015年1月～10月 16件
- (補足)診療と投薬の説明を丁寧にするようにした？

⑥現時点(2015年10月末)で、被収容者の治療のために施設内に常備されている薬で、どのような種類の病気に対応できていますか。また、常備されている薬は何種類ですか。年間どのくらいの薬が使用されていますか。昨年と変化しているものがあつたら教えてください。

(昨年回答)

- ・市中の一般診療所(内科・外科・整形外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科)で対応していることと同等の種類の病気に対応できる薬を常備している。
- ・常備薬(医師処方)約200種 市販薬(警備室保管)11種あり
- ・使用実績は、処方薬32,139個 市販薬1,435個

(今年回答)

- ・常備薬の種類は 11 種類、使用頻度が多いのは、鎮痛薬、漢方薬、外用薬。1 月～10 月まで 5,163 件あった。

⑦精神安定剤、睡眠導入剤、鎮痛剤について変更はありましたか。

(昨年回答)

- ・精神安定剤、睡眠導入剤は常備なし。鎮痛薬はセデス 1 種類のみで、昨年と変化なし。新セデスは 1 回 2 錠、1 日 3 回となっているところから、1 日最大 6 錠。

(今年回答)

- ・常備薬としては置いていない。医師の処方により精神安定剤、睡眠導入剤はある。必要に応じて処方される。

⑧2014 年及び 2015 年 1 月～10 月の期間中に、施設内でレントゲンは何名の被収容者に使用されましたか。

(昨年回答)

- ・2013 年 109 件
- ・2014 年 1 月～10 月 52 件

(今年回答)

- ・2014 年 77 件
- ・2015 年 1 月～10 月 78 件

3、被収容者の処遇について

①大村入国管理センターの平成 27 年度予算の内訳と 1 人当たりのコストを教えてください。なお、被収容者の医療関係経費についても教えてください。

(昨年回答)

- ・平成 26 年度予算額 6,100 万円
- ・平成 27 年度概算要求額 6,100 万円

被収容者医療関係経費は薬品及び医療用品購入代に大別されるが、平成 25 年度の実績では、合わせて 440 万円だった。平成 26 年度は現時点で 220 万円を超えており、前年度を上回る見込み。

(今年回答)

- ・平成 27 年度予算額 6,100 万円
- ・平成 28 年度概算要求額 6,100 万円

1 人当たりのコストは年度途中であり算出できない。被収容者医療関係経費は薬品

及び医療用品購入代に大別されるが、平成 26 年度の実績では、合わせて 330 万円だった。平成 27 年度は現時点で 255 万円を計上しており、前年度を上回る見込み。

②現時点(2015 年 10 月末)で、昨年度に比べて職員体制と定数で変更があれば教えてください。

(今年回答)

(47 名で) 変更なし

③現時点(2015 年 10 月末)で、喫煙者用棟と非喫煙者棟の被収容者数は何名ですか。この 2 つの収容区分以外に収容されている人はいますか。

(昨年回答)

- ・ 2014 年 10 月末の収容者数は、喫煙者用区域 7 名、非喫煙者用区域 1 名。
それ以外の区域に収容されている人はいない。

(今年回答)

- ・ 2015 年 10 月末の収容者数は、喫煙者用区域 12 名、非喫煙者用区域 17 名。
その他の収容区域では、居室単位で運営しており、喫煙者居室 2 部屋で 2 名、非喫煙居室 8 部屋で 13 名。

④2015 年度の 1 部屋の定員及び 1 部屋の平均収容人数は何名ですか。

(昨年回答)

- ・ 昨年と同じで、一部屋の定員は 10 人部屋。1 部屋の収容人数は 4～5 名。
1 人部屋は無い。

(今年回答)

- ・ 昨年と同じで、一部屋の定員は 10 人部屋。1 部屋の収容人数はおおむね 4～5 名で運営している。
1 人部屋は新設していない。

⑤運動時間、入浴、洗濯などについて、昨年から変化した点はありますか。

(昨年回答)

- ・ 入浴は 2013 年 10 月から 13 時～16 時 30 分 に加えて新たに 10 時～12 時の 2 時間をプラスした。それ以外は昨年と同様。

(今年回答)

- ・ それ以外は昨年と同様。入浴は 2013 年 12 月から 13 時～16 時 30 分 に加えて新たに 10 時～12 時の 2 時間をプラスした。

⑥食事について、昨年と変わったところがありますか。

(昨年回答)

- ・牛肉料理について細切り肉から一枚肉を使えるようにした。汁ものに玉ねぎを加えられる献立バリエーションを加えた。

(今年回答)

- ・食習慣上味噌汁が飲めない被収容者に、新たにコンソメスープを供するようになった。
- また、これまでコッペパンと食パンの2種類のパンを2週間ごとに交互に支給していたが、パン製造業者の変更に伴い、コッペパンは平成26年12月25日から毎週火曜日に支給することとなった。その他の変更なし。

⑦2014年及び2015年1月～10月の期間中、面会者は延べ何名の被収容者と面会していますか。

(昨年回答)

- ・2013年 延べ1,139名
- ・2014年1月～10月 延べ1,427名

(今年回答)

- ・2014年 延べ1,721名
 - ・2015年1月～10月 延べ1,456名
- 面会者2名が同時に1名の被収容者と1件の面会を実施した場合、被収容者2名、延べ2件となる。面会者1名が被収容者2名と面会を実施した場合も同様に被収容者2名、延べ2件となる。

⑧昨年複数言語に対応する電子辞書の取り入れを検討されていましたが、その後実施されましたか。

(今年回答)

- ・予算の都合により導入していない。被収容者の求めがあれば、国語、英語、仏語、中国語、ベトナム語、ラオス語の辞書を貸与している。また、被収容者個人が所有している電子辞書に保安上支障がなければ、持込を認める。

⑨最近仮放免の申請から結果が出るまでに2ヶ月を超える案件が増えています。従来に比べて時間を要する理由を教えてください。

(今年回答)

- ・個々の事案に適切に対応している。一部時間を要している案件は、申請に際し不足

している書類を後日追加提出することにして申請を受理するケースがあり、追加書類を受領するまでに長時間を要した案件があり、これが主たる要因と考えている。今後の可能な限り迅速な処理を心がけていきたい。

4、その他

①過去に大村入国管理センターを難民受け入れ施設として使うことを検討されたことがありますか。

(今年回答)

- ・当施設の使用目的等方針については、本省で検討、決定することであり、答える立場にない。